

Ubu. gel cream

うぶ・ジェルクリーム

うぶの語源については2つの説がある。

ひとつは「産む/生む(うむ)」からきている説。生まれたてで自然のまま」の意味から派生して純粹無垢な様子意味する言葉になったと言われている。

もうひとつは「初(うい)」からきているという説。「初」は「初々しさ」を表現する言葉。邪知深さが一切ない、きれいな心を表すためにこの漢字が使われているようだ。

「初」「初恋」「産」「生」

年が若く世間ずれしていない・こと (さま)。純情なさま。
生まれたときのままであること
自然のままであること。また、できたときのままであること。
生まれたときの、生まれたままの、などの意を表す。

Ubu. は「うぶ肌」を目指します。

「うぶ肌」

Ubu.は生まれたままの赤ちゃんのようなお肌を「うぶ肌」と呼びます。

みずみずしく、透明感があり、柔らかでハリのあるお肌は、私たち人類の永遠の憧れです。

そんなお肌に導くのはUbu.

ベタつかない。それでいて潤う

新感覚 ジェルクリーム

『オールインワンジェルじゃ物足りない・・・』

『クリームはベタつくから嫌・・・』

そんなニーズにお応えした結果、製薬会社様のご協力のもと、保湿効果をしっかり実感できる成分をたっぷり配合し、ベタつかない、新感覚の『うぶ・ジェルクリーム』を開発いたしました。

『うぶ・ジェルクリーム』は、お肌に必要な水分と油分を最もお肌の保湿に適した比率で構成しています。

乾燥から始まるお肌のトラブルを改善

お肌表面の乾燥によるトラブルだけでなく、インナードライをも改善します。みずみずしく、ふっくらとしてハリのあるお肌へと導きます。

新感覚 オールインワン!!

Ubu. gel cream

うぶ・ジェルクリーム

ひとつで化粧水・乳液・クリーム・美容液
化粧下地のスキンケアがまとめてできるア
イテムです。

	Ubu. ジェルクリーム	従来の オールインワン ジェル	従来の オールインワンク リーム
使用感	サラツル	サラサラ	ベタつく
水分量	多い	多い	少ない
保湿力	高い	低い	高い
	水分を補い、ベタ つかせずにしっか り保湿します。 どなたにもお使い いただける。	ベタつきが苦 手な方、脂性 肌の方向き。 インナードラ イ、表面の乾 燥に注意が必 要。	乾燥肌の方、 高い保湿力を 求める方向き。 水分を補うこ とが理想的。

ALL JAPAN

Ubu.は安全安心

全ての原材料を、厳選された良質な国産原材料にこだわり、国内製薬会社が製造を行っています。勿論パッケージを含め、全ての生産工程を国内で行っています。

主な成分

ノニエキス・プラセンタエキス・吸着型ヒアルロン酸・ホホバ油・グリチルリチン酸

直接お肌につけるものだから、安全安心なもので美肌を実感してほしい。そんな願いを込めて、パッケージは過度に飾らず控えめに、とことん内容成分にこだわりつくりました。

主な成分



スーパーフードノニを含め6つの主成分で「うぶ肌」へと導くこだわりの配合

ノニ

お肌の為のスーパーフードと言われるノニは、「驚異のフルーツ」「ハーブの女王」「神からの贈り物」とも呼ばれ古来より様々な場面で万能薬として役立てられてきました。

ビタミンCやビタミンB群などのビタミン類、カリウムカルシウムなどのミネラル類、アミノ酸、β-カロテン、プロキセロニン、スコポレチンに加え、根に多く含まれているモリンジン、テルペン、オレイン酸、リノール酸などの140種類以上もの有効成分が含まれています。

B-カロテンは体内で必要な分のみビタミンAに返還されます。脂溶性のビタミンでもあるビタミンAは油との相性が良く、油と一緒に摂取することで吸収率が上がります。ビタミンCやβ-カロテンには強い抗酸化作用があり、紫外線や喫煙、ストレスなどの様々な場面で発生する活性酸素を除去します。

ノニに含まれるビタミンCやポリフェノールが強い抗酸化作用を発揮して酸化から守ることで老化、肌トラブルが予防されます。

ノニに含まれるビタミンCは、丈夫な血管や筋肉、骨、肌などを作るコラーゲンの合成に必要不可欠な成分です。

ノニに含まれるプロキセロニンや亜鉛は、弱った細胞の再生を促し細胞の機能を正常に保つ働きがあります。また人間に必要なたんぱく質のもととなるアミノ酸も豊富にふくまれています。ノニには体内で作り出せず、食事から補わなければならない全ての必須アミノ酸が含まれており、健康な体、お肌をつくれます。

美肌・美白効果

シミ・そばかすの原因となるメラニン色素は、アミノ酸の一種であるチロシンから生成されます。ノニに豊富に含まれているビタミンCはチロシンを生成する酵素であるチロシナーゼの働きを抑制し、メラニン色素の沈着を防ぐ働きがあるため、シミ・そばかすの予防につながるとされています。ビタミンCはメラニン色素を素早く分解する働きも持ち、日焼けした肌を早くもとの状態に戻す美白効果も期待できます。さらに、亜鉛やプロキセロニンには新陳代謝を活発にする働きがあるため、肌のターンオーバーを正常に導き美しい肌をつくり出す効果も期待されています。

感染を予防する効果

ビタミンCは、血液中の白血球、特に好中球の活性を高め、体外から侵入してきた細菌やウイルスなどを撃退します。ビタミンCは白血球の働きを高める作用があることに加え、ビタミンC自体も細菌やウイルスに対抗する力を持っています。さらに、プロキセロニンは体内でキセロニンに変換され、人間が持つ自然治癒力を高める働きをします。そのため、ノニには免疫力を高め風邪などの感染症を予防したり、病気の回復を早める効果があるといわれています。

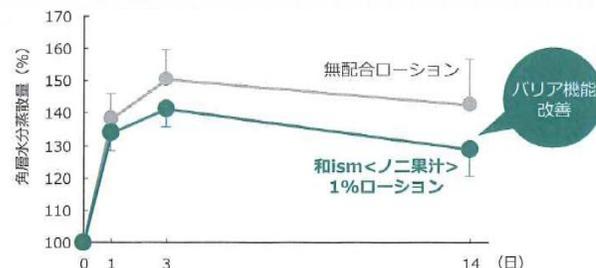
ストレスを和らげる効果

ノニに含まれるビタミンCには、ストレスを和らげる副腎皮質ホルモンと、心地良さなどの感情をつくり出すドーパミンや気持ちを落ち着かせるGABAなどの神経伝達物質の合成をサポートする働きがあります。さらに、スコポレチンやテルペンには精神状態を安定させる働きがあります。そのため、ノニにはストレスをやわらげ、イライラを鎮め精神状態を安定させる効果があると考えられています。

炎症を抑制する効果

ノニに含まれているスコポチレンやプロキセロニン、モリンジンなどには強力な抗菌作用があるため、体内での炎症を抑制する効果が期待できます。また、スコポチレンは鎮痛作用があるとされ、抗ヒスタミン剤としても利用されています。

ノニで バリア機能の強化



私たちが見て触れることのできるお肌の最表面「角層」。
この角層のバリア機能により外部刺激からお肌を守り、お肌の内側の潤いを維持しています。
バリア機能を担う一つにCE(コーニファイドエンベローブ)があります。これは角質細胞の外側を包む頑丈な膜です。しかし外部ストレスを受けやすい顔では腕の内側などと比較して、未熟なCEが多く、角質の配列が乱れバリア機能が低いことが知られています。
バリア機能の低下で、ザラツキなどのお肌の感触、見た目に影響を与えてしまいます。

CEを構成するタンパク質や酵素の産生促進により、CEの熟成化を促進することは、バリア機能を強化しお肌の感触、見た目の美しくします。

Ubu.ジェルクリームに配合されているノニエキスは、角質細胞を包む膜であるCEの熟成化促進を行い、お肌のバリア機能の強化し、外部刺激からお肌を守り、潤い維持をサポートします。

ノニ果汁の主な作用・効果 角層CE成熟化促進

作用

- ・インボルクリン産生促
- ・ロリクリン産生促進作
- ・トランスグルタミナーゼ-1産生促進用
- ・ヒト角層におけるCE形成促進作用



実験的ドライスキンにおけるバリア機能改善作用
(和ism®<ノニ果汁>配合製剤にて実施)

ヒアルロン酸

ヒアルロン酸は、保水力（水分を保つ力）がとても高く、1gで6リットル（500mlのペットボトル12本分）もの水分を抱え込むことができる成分です。

ヒアルロン酸は、ムコ多糖類というねばねばとした物質であり、主に、皮膚の表皮と真皮、軟骨や目の硝子体に存在しています。その驚異的な保水力を発揮することにより、各部位で潤いを保つ役割を果たしています。

ヒアルロン酸の持つ保水力が肌の潤いを保ち、ハリと弾力のある肌をつくり出します。
皮膚は、外側から表皮・真皮・皮下組織の3層からなり、ヒアルロン酸は、真皮に含まれている成分です。

肌は、たんぱく質の一種ヒアルロン酸などによって潤いとハリが保たれています。ヒアルロン酸が、水分を保つことによって、潤いに満ちたハリのある肌へと導きます。

体内のヒアルロン酸量は、20歳をピークにどんどんと減少し続けますが、40歳代からはその減少スピードが急激に速まり、60歳代になると20歳代の半分以下にまで減少してしまうといわれています。

しかし潤い成分であるヒアルロン酸を補うことによって、弾力性のある肌を維持することができます。
また、シワやたるみを予防することで、みずみずしく、若々しい印象の肌を保つことができます。そのため、ヒアルロン酸はアンチエイジング（抗老化）の成分としても注目されており、特に女性からの関心は非常に高いものとなっています。

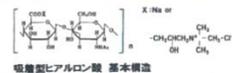
また、ヒアルロン酸は安全性が高いことが評価され、美容外科・整形外科などの手術の際に使用されるヒアルロン酸注射としても利用されています。

高機能新素材 吸着型ヒアルロン酸について

皮膚への吸着のメカニズム

1 皮膚の表面は、マイナスに帯電しています。

2 吸着型ヒアルロン酸はプラス電荷を持っています。



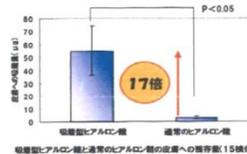
3 吸着型ヒアルロン酸は皮膚にイオン的に吸着すると考えられます。

吸着型ヒアルロン酸の皮膚への吸収試験

<試験方法>

- 試料
- 試験フロー
- ①吸着型ヒアルロン酸1%液
 - ②通常のヒアルロン酸1%液
- 被験者の前腕部に試料を塗布
↓
静置3分間
↓
流水洗浄
↓
テープストリッピング
↓
テープからヒアルロン酸を抽出
↓
HPLC分析

<試験結果>



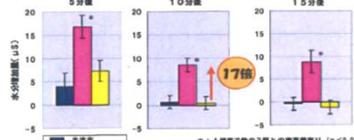
吸着型ヒアルロン酸は、洗い流されず、皮膚に吸着することが確認されました。

吸着型ヒアルロン酸の皮膚保湿試験

<試験方法>

- 試料
- 試験フロー
- ①吸着型ヒアルロン酸1%液
 - ②通常のヒアルロン酸1%液
- 被験者の前腕部に試料を塗布 (n=12)
↓
静置3分間
↓
流水洗浄
↓
数回の水分を拭く
↓
経時的に水分量を測定 (5分後・10分後・15分後)
皮膚角層水分計 (SKICON-200)

<試験結果>



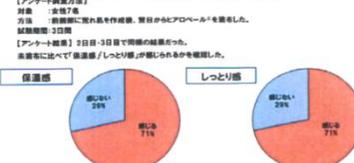
吸着型ヒアルロン酸は、洗い流れず、皮膚に保湿することが確認されました。

吸着型ヒアルロン酸の荒れ肌試験

<試験方法>

- 試料
- 試験フロー
- ①吸着型ヒアルロン酸
- 被験者の前腕部に荒れ肌を作成 (30%ラウリル硫酸ナトリウム処理)
↓
1日目: アンケート・皮膚状態の確認 (デジタルマイクロスコープ)
↓
吸着型ヒアルロン酸塗布 (2日目)
↓
2日目: アンケート・皮膚状態の確認
↓
吸着型ヒアルロン酸塗布
↓
3日目: アンケート・皮膚状態の確認

<アンケート結果> 女性の実感



吸着型ヒアルロン酸を塗布すると、肌状態の改善が実感できることが確認されました。

<皮膚状態の結果:一例>



Ubu.の ヒアルロン酸の実力は17倍

プラセンタ

栄養たっぷりのプラセンタ

プラセンタとは「哺乳動物の胎盤」のこと。この胎盤からエタノールで抽出したものが、化粧品などに配合されているプラセンタエキスです。

胎盤には成長因子や体内で作り出せない複数の必須アミノ酸など豊富な栄養素が含まれていることが分かっています。野生の哺乳類などが、出産後に排出される自分の胎盤などを食べることもあるのはよく知られていますが、これらは本能で自身の身体を回復させる行為とも言われています。

医療現場では、免疫力を上げ、細胞の活性化につながるという効果が期待され、肝機能改善やアトピー性皮膚炎、更年期障害などの治療場面でも用いられてきました。

プラセンタが注目されてきた歴史は実は古く、漢方の分野では、プラセンタは「紫河車（しかしゃ）」として古代より用いられている生薬でもあります。日本でも、第二次大戦末期の頃にプラセンタを含む経口栄養剤が開発され、母乳分泌不全や新生児の死亡率改善のために用いられたという史実もあります。

プラセンタには10数種類のアミノ酸や核酸様物質、さらに各種ビタミン類、ミネラル、酵素、ムコ多糖類など、豊富な成長因子が含まれています。

いろいろな研究から、成長因子様作用により、肌のハリ向上やターンオーバーが期待できる線維芽細胞増成などの作用が認められおり、アンチエイジング対策の成分として、注目されてきたというわけです。

ヒトプラセンタは医療用でのみ使用が認められています。
その為、化粧品としては、ブタ、ウマが主流です

Ubu.がブタプラセンタを選ぶ理由は、豚の分子構造が比較的人間に近く、栄養分をスムーズに取り入れられることにあります。

ホホバ油

ホホバ科の植物であるホホバの種子から生成する植物性の液体蠟です。ホホバオイルという名前から油と誤解されることが多いのですが、主成分は脂肪酸と不飽和アルコールとなることから、科学的な扱いは油でなく「蠟」ということとなります。

ホホバはアメリカやメキシコなどに自生する、生命力に優れた植物です。ホホバオイルはアメリカ先住民が使用していたほど長い歴史を持ち、当時は食用油やヤケド、湿疹の治療薬としても用いられてきました。天然由来の成分です。

ホホバオイルには、角層からの水分蒸発を抑え、肌を柔軟にして保湿するエモリエント作用があると認められています。民間企業の研究によると、ホホバオイルにはアボカド油と同等の抱水力があり、肌を柔らかくして保湿する効能に期待できます。油っぽくなく、肌全体になじみやすいのが特徴です。

ホホバオイルには「エイコセン酸」という成分が含まれています。この成分は炎症を引き起こす「プロスタグランジン」という物質を減らす作用を持っており、ホホバオイルを使用することによって、炎症を抑えたり、予防したりする効果に期待できます。

ホホバオイルの原材料の一種であるゴールデンホホバオイルには、ビタミンEがたっぷり含まれています。ビタミンEには抗酸化作用が秘められており、紫外線などから肌を守ることが可能です。酸化ストレスから肌を防御できることも、ホホバオイルが持つ効果・効能の1つです。

いくつかの菌に対する抗菌効果にも期待できます。特にサルモネラ菌や大腸菌、カンジダなどを引き起こす要因となる細菌や真菌に対して有効です。

ホホバオイルにはさまざまな効果・効能があります。赤ちゃんの肌との相性も抜群で、ホホバオイルを使ったベビーマッサージに使われます。

グリセリン

グリセリンは、強い吸湿性を持つ性質があります。その性質から、保湿剤として化粧品などに多く配合されています。グリセリンは水に溶けやすい成分で、保湿剤の中では感触が重く、濃度が高いとべとつきを感じます。グリセリンの添加率に応じて、保湿感とべとつきが増えていきます。

グリセリンは吸湿性が高く、水分を外部から取り込み保湿する性質がある為、高濃度のグリセリンを塗布することは、吸湿能が高まり、大気中の水蒸気と一緒に肌の水分まで奪って、逆にお肌を乾燥させてしまいます。配合率がグリセリンの性質を最大限に活かします。

ヒアルロン酸との相性がとてもよく肌をやわらかくする効果があり、グリセリン配合の化粧品は保湿効果と肌をやわらかくする効果の両方を兼ね備えているものが多いといえます。

肌荒れが生じる一般的な角質層の水分保持機能が低下しターンオーバーが乱れることでバリア機能が損なわれ、炎症を伴う症状がみられるといわれています。

通常、肌荒れ防止剤には、炎症や乾燥などの状態を改善し、失われた成分を補給する目的と、角質層本来の働きを取り戻させる働きがあります。

グリセリンは、その吸湿性から角質層に潤いを与え、肌荒れを抑制します。肌荒れ防止には欠かせない成分です。

グリチルリチン酸 ジカリウム

グリチルリチン酸ジカリウム（グリチルリチン酸2K）は、自然界にある「甘草（かんそう）」に含まれているグリチルリチン酸にカリウム塩を加えた成分です。

甘草は生薬の王とも呼ばれ、古くから薬として使われていました。現在でも甘草の根っこに含まれている「グリチルリチン酸」はよく使われています。とくに、これにカリウム塩を加えて水溶性を高めた（＝水に溶けやすくした）ものを「グリチルリチン酸ジカリウム」と呼びます。優れた消炎作用と刺激の少なさが特徴です。

グリチルリチン酸ジカリウムには優れた消炎作用があるほか、抗アレルギー作用、バリア機能改善作用、刺激緩和作用などの効果も期待できます。

抗炎症作用がありプロスタグランジンE2 (PGE2) という炎症性物質の一種を抑制することで、炎症を和らげます。

抗アレルギー作用がありヒアルロニダーゼの活性化を阻害する働きによって、かゆみなどの原因となるヒスタミンの放出を抑制します。

バリア機能を強化します。主に角質層が担っている機能ですが、この角質細胞を強化する働きがあります。角質細胞に必要なインボルクリンとトランスグルタミナーゼ-1を産生する働きがあります。

刺激緩和作用があり、化粧品の「ピリピリ」「チクチク」といった不快感を和らげる働きがあります。痛みやしびれなどを感じ取る神経に働きかけます。





Ubu. gel cream

うぶ・ジェルクリーム

小売希望価格 19,800円(税込)

全成分表示

水、ホホバ種子油、ペンチレングリコール、グリセリン、(アクリル酸ヒドロキシエチル/アクリロイルジメチルタウリンNa)、コポリマー、スクワラン、プラセンタエキス(ブタ)、ヤエヤマアオキ果汁、ヒアルロン酸ヒドロキシプロピルトリモニウム、グリチルリチン酸2K、ポリソルベート60、イソステアリン酸ソルビタン、BG、エタノール、メチルパラベン、ブチルパラベン、プロピルパラベン

内容量 80g

製造販売元 大和製薬株式会社

販売元 株式会社ホクノー



販売元 株式会社ホクノ一

〒463-0084 愛知県名古屋市守山区西城2-6-18

TEL052-791-5886 FAX052-799-5755